

ボーイング KC-767J

童友社 1/300スケールプラスチックキット改造
製作・文：政府開発援助

1. KC-767Jについて

ボーイングKC-767Jはボーイング社が開発した空中給油／輸送機の航空自衛隊仕様であり、ボーイングB-767SR200にフライングブーム式の給油装置と最大積載量約35トンの貨物室を装備している。給油対象機種はF-4EJ改・F-15J/DJ・F-2A/Bとされている(AWACSも将来的に対応可能)。2001年に採用が決定され、2008年に2機が航空自衛隊小牧基地に配備された。空中給油機としてばかりでなく大型輸送機としての運用も期待されている。

2. 製作と塗装について

童友社のAWACSのキットをベースにしています。童友社のキットの胴体部分は延長された767-300のものなので、まず胴体の短縮工作进行了。主翼より前を約13mm後ろを約8mm、機体中心線がずれないように互い違いに切り欠いて再接着しました。ついでに機尾下面をふっくらとボリュームアップしています。機首左側の貨物扉はマスキングテープを貼り付けてお手軽にモールドを追加。エンジンは一回り小さいと感じたので前半部分にプラペーパーを巻き付けて直径を大きくし、エポキシパテで中央部分へとなだらかに繋がるように整形しました。ファンは旧イマイのガウオークバルキリーより流用。外観上最大の特徴である給油ブームは真鍮管を用いて自作し、基部はポリランナーのタグ部分を埋め込んで可動するようにしています。降着装置は省略し、主脚収納部の位置を修正しました。飾り台は分解可能なものを自作しました。

塗装はクレオスのガルグレーの缶スプレーを吹いた後、細部をラッカー系・エナメル系カラーを併用して塗り分けました。デカールはカルトグラフ製の上質なものが付属しているので、機番と飛行開発実験団のマーク及びエンジン塗分部分の銀色のみMDプリンタで自作しました。仕上げのクリアーは光沢の上から半光沢を重ねています。



前方より

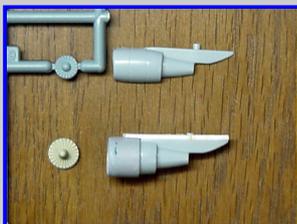


後方より

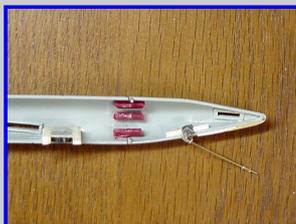
3. 途中画像



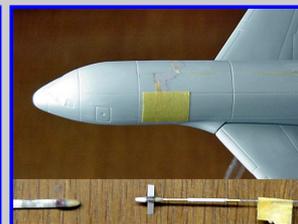
767-200サイズにする為主翼の前後で全長を計21mm短縮。



エンジンにプラ板を巻き付けて大型化。この後中央部分にパテ盛りを行った。



給油ブームを可動させる為の機構と飾り台取り付け用マグネット。



KC-767J固有の形状を複合素材で再現。